

2026年5月28日

各位

会社名 株式会社 SBI 新生銀行
代表者名 代表取締役社長 川島 克哉
(コード番号:8303 東証プライム市場)

プロジェクトアゴラ、トークン化技術およびプログラマブル技術の活用による クロスボーダー決済の効率化に向けた報告書を公表

株式会社 SBI 新生銀行(東京都中央区、代表取締役社長 川島 克哉、以下「当行」)が参画する「プロジェクトアゴラ」が、トークン化された中央銀行準備預金およびトークン化された商業銀行預金を用いた多通貨決済を通じ、安全かつ確実な方法でホールセール型クロスボーダー決済の非効率性を解消できる可能性を示した報告書を公表したことをお知らせします。

プロジェクトアゴラは、クロスボーダー決済の抱える非効率性等の課題解決に向けて国際決済銀行(BIS)および国際金融協会(IIF)により招集された官民が連携するプロジェクトで、イングランド銀行、ニューヨーク連邦準備銀行、フランス銀行(ユーロシステムを代表)、日本銀行、韓国銀行、メキシコ銀行、スイス国立銀行の中央銀行7行、および当行を含む40を超える民間金融機関が参画しています。

プロジェクトアゴラが今般公表した報告書では、トークン化技術およびプログラマブル技術により、中央銀行準備と商業銀行預金を用いた多通貨決済により決済の安全性と完全性を維持しつつ、ホールセール型クロスボーダー決済における長年の非効率性を解消できる可能性を実証したこと、および、今後、特定の通貨および参加者を対象とした実取引を含むテストへと進む予定であることを報告しています。

当行は、本プロジェクトへの参画を通じ、クロスボーダー取引が抱える課題の解決に寄与することを目指しております。引き続き顧客中心主義を徹底し、お客さまに利便性の高いサービスを提供する取組を続けてまいります。

以上

お問い合わせ先

SBI新生銀行 サステナビリティ&コミュニケーション統括部
報道機関のみなさま SBIShinsei_PR@sbishinseibank.co.jp
株主・投資家のみなさま SBIShinsei_IR@sbishinseibank.co.jp